

教科	科目	単位数	学年	集団
商業	原価計算	3	2	ビジネス探究科

使用教科書	副教材等
原価計算（実教出版）	最新段階式簿記検定問題集 全商1級原価計算（実教出版） 全商簿記実務検定模擬試験問題集 1級原価計算（実教出版）

科目の目標
商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、原価情報の提供と活用に必要な資質・能力を身につけることを目指す。

評価の観点とその趣旨	
①知識・技能	原価計算、原価計算に関する会計処理及び原価情報の活用について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけている。
②思考・判断・表現	原価計算、原価計算に関する会計処理及び原価情報の活用する方法の妥協性と課題を見だしビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を身につけている。
③主体的に学習に取り組む態度	企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力及び適切な原価管理を行う力の向上を目指して自ら学び、適切な原価情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協同的に取り組もうとしている。
評価方法	
①知識・技能…定期試験、小テスト ②思考・判断・表現…定期試験、提出物の点検 ③主体的に学習に取り組む態度…授業への取り組み状況	

学習計画						
月	項目	単元	単元や題材などの内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	原価と原価計算	原価の概念 原価計算の特色と仕組み	原価と原価計算の概要について理解している。 原価と原価計算について自ら学び、適切な原価情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協同的に取り組もうとしている。	○		○
5	原価の費目別計算	材料費の計算 労務費の計算 経費の計算	原価の費目別計算について理論と実務とを関連付けて理解している。 原価の費目別計算の方法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応することができる。 原価の費目別計算について自ら学び、適切な原価情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協同的に取り組もうとしている。	○	○	○
	中間試験			○	○	○
6	原価の部門別計算と製品別計算	個別原価計算と製造間接費の計算	個別原価計算と製造間接費の計算について理論と実務とを関連付けて理解している。	○		
7	期末試験			○	○	○
		部門別個別原価計算	部門別個別原価計算の方法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応することができる。		○	

9	夏課題試験		総合原価計算 総合原価計算の方法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応することができる。	○	○	○
	原価の部門別計算と製品別計算				○	
10	内部会計	製品の完成と販売 工場会計の独立	内部会計に関する会計処理について理論と実務とを関連付けて理解している。 本社と工場間の取引の記帳方に関する会計処理について理論と実務とを関連付けて理解している。	○	○	
	中間試験			○	○	○
11		製造業の決算	製造業の決算の特徴と手続きについて自ら学び、適切な原価情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。			○
	期末試験			○	○	○
12	標準原価計算	標準原価計算の目的と手続き 原価差異の原因分析	標準原価計算について理論と実務とを関連付けて理解している。 製造間接費差異分析の計算方法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応することができる。	○	○	
	冬課題試験			○	○	○
1	直接原価計算	直接原価計算の目的と財務諸表の作成 短期利益計画への活用	直接原価計算について理論と実務とを関連付けて理解している。 短期利益計画の計算方法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応することができる。	○	○	
	全商簿記実務検定 原価計算					
2	問題演習		これまでに学習した内容について、理論と実務を関連づけて理解している。 これまでに学習した内容について、課題を見だし、根拠に基づいて表現することができる。 これまでに学習した内容について、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○
	学年末試験			○	○	○
3	1年間の振り返り		1年間を振り返り、次年度に向けて主体的かつ協働的に取り組もうとしている。			○